
しのばず自然観察会より 2021-5 2021.05.12

2021 年 5月の活動 不忍池定点観察 中止します

~~中止 (集合：2021年5月23日(日) 午前10時 不忍池蓮池南西端) 中止~~

3 回目の緊急事態が宣言されたなか、上野公園がある東京都台東区内では、3 月末から一週間当たりの新規感染者数増加が続いています。5 月 11 日までの緊急事態宣言は 5 月末日まで延長となりました。しかし先行きは見通せません。個人の外出やお店の営業自粛に頼るばかりで、緊急事態期間内にすべき有効な施策がありません。しかもオリ・パラ実施のために医療体制への脅威が増大しています。そこで延長された緊急事態期間後のウイルス感染の見通しを確かめてから会の活動を提起したいため、**5月の活動を中止します**。上野公園・不忍池の状況は随時ホームページでお伝えします。

6月の活動予定 6月13日(日) 不忍池定点観察

例年行ってきた6月の公開観察会は昨年、今年と中止し、会員プラスアルファでじっくり不忍池の自然を観察することになります。詳細は次回の通信で。

2021 年 4月の活動 不忍池定点観察 より

4 月 25 日は午後から雨か雷雨の予報にもかかわらず、朝は日差しがあり、半信半疑の外出となりました。3 度目の緊急事態宣言初日でしたが、7 名が参加、公園は花見のときとは打って変わって少なめの人出。そのうち徐々に青空が広がって汗ばむ陽気に。カモもカモメもいないと思われたのですが、よく見て回ると、オカヨシガモ雄1、キンクロハジロ雄雌各1、ウミネコ4、オオバン1が旅立たずにいました。目だったのはアオサギで、9羽いました。その他の野鳥：カルガモ、カワウ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギ、カイツブリ、キジバト、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、シジュウカラ(声)。

池のハスは浮葉が出そろい、アシの新芽も伸び始め、例年だと5月半ばの景観です。蓮池と動物園池の境の堰の両側には例年のようにたくさんのコイが群れ、その傍らに2尾のカムルチー(雷魚)。背びれが尾びれ際まで続いているので、コイと区別できます。

水上の人工水盤では、キショウブ、アイリス(花菖蒲系の園芸種)、岸边にはアカバナユウゲショウ(赤花ツキミソウ)、ヒルガオの仲間、それにかつて群落があったのですが、仮設のテント劇場設置で絶滅したあたりに数十年ぶりにカントウタンポポ開花個体1つが復活。あちらこちらにチガヤの白い穂波。ほかにナヅナ、ホトケノザ、ノゲシ、ナガミヒナゲシなど。外来植物の種類が多いですね。

なお、27日には岸の草花は草刈りで一掃されていました。



ウミネコ



アオサギ



カムルチー (雷魚)



カントウタンポポ



チガヤ



アカバナユウゲショウ

赤塚公園のヤマブキソウ観察 (有志活動)

昨年見送った赤塚公園のヤマブキソウ観察会が、板橋区在住の栗林菊夫会員の呼びかけで4月21日にありました。今年は花が早く、この日は咲き終わりに近かったのですが楽しめました。ニリンソウも花が少し残り、赤塚城址ではギンランの花も。来年こそ、皆を誘って見ごろに来たいと申し合わせました。(写真上：ヤマブキソウ)



なお、この日は旧「区の花ニリンソウを守る会」の事務局を務めた香取孝作さんご夫妻に現地で迎えていただき、おふたり合わせて180歳?とは思えない元気な会話を共有しました。ありがとうございました。写真下：左からニリンソウ、ギンラン)



しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

※2020年以前の会費未納の方もお忘れなく! 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。 ※